

山梨大会

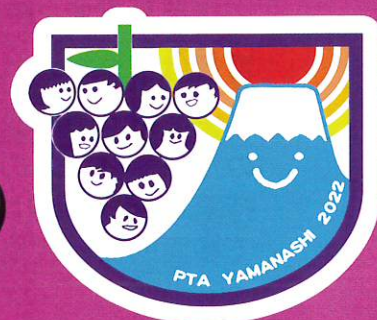
みんなで生きる
みんなで育つ

~この甲斐(会)から発信 子どもと大人 共に歩み 共に考え 共に創る~

(分科会)

(全体会)

令和4年 (2022年) 10/15(土) 10/16(日)



主催 関東ブロックPTA協議会

主管 山梨県PTA協議会

ごあいさつ

いよいよ、第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会を開催いたします。関東ブロックでは、2000人の方々が集まる規模の大会が、4年ぶりの開催となります。

大会スローガン『みんなで生きる みんなで育つ ～この甲斐（会）から発信 子どもと大人 共に歩み 共に考え 共に創る～』の想いを軸にこれまで準備をしてまいりました。

子どもたちを取り巻く環境は、様々な問題を含み、多岐にわたり複雑化しているようにも感じられます。このような状況の中、PTAが担う役割はますます大切になってくると考えています。

この山梨大会がきっかけに、子どもたちの成長のためのより良い環境づくりに寄与するPTA活動の後押しとなることを願っております。

雄大な富士山のもと、充実した山梨大会の2日間を是非ご期待ください。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

山梨県PTA協議会 会長 勝村 和重

大会趣旨

近年の人口減少と共に少子化、高齢化の進む社会の変化や、情報社会の複雑化、経済的格差による子どもの貧困問題など、子どもたちを取り巻く生活環境における課題の深刻化は、地域の行事や伝統文化の伝承・継承の困難さなど持続可能な地域コミュニティを築くことの難しさにも繋がっています。

これからの未来を託す子どもたちが夢と希望を抱き、命の尊さと生きる喜びを感じることのできる豊かな人間性をもって成長できるよう保護者と教職員が手を取り合ってしっかりと子どもを支え、共に、地域と連携し子どもたちの成長を見守っていくことが重要です。

山梨には古くから相互扶助を目的とした「無尽（むじん）」と呼ばれるコミュニティがあります。時代と共にその姿は変わりましたが人々が集い交流を大切にするこの習慣は引き継がれ、山梨の特色として地域や職場などに「あつまり」として根付いています。この山梨大会に、多くの仲間があつまり、未来を担う子どもたちの健全育成のためにPTAの果たすべき役割を再認識すると共に、子どもとの関わりをとおし、持続可能な地域コミュニティの活性化に結びつくPTA活動を実践する方策について多面的に研究協議をしていきます。

大会スローガン

みんなで生きる みんなで育つ

～この甲^{かい}斐（会）から発信 子どもと大人 共に歩み 共に考え 共に創る～

〈副題について〉

子どもたちには自分らしさを大切に、夢や希望を抱き未来をたくましく切り拓いていくことを望みます。そのためには大人は子どもたちを、次代を担う後継者として、人間としての尊厳を守り、十分な愛情を注ぎ、共に成長していくことが大切です。

そして、子どもたちは大人に守られる立場から今を生きる社会の形成者として、大人と共に地域コミュニティの創造者として自主ある活躍をしていってほしいとの願いが込められています。

〈主 催〉関東ブロックPTA協議会 〈主 管〉山梨県PTA協議会

〈後 援〉（以下、申請予定）

文部科学省・（公益社団法人）日本PTA全国協議会・山梨県・山梨県教育委員会・山梨県市町村（組合）教育委員会連合会・全体会及び分科会開催地市町村教育委員会・山梨県公立小中学校長会・山梨県公立小中学校教頭会・山梨県連合教育会・山梨県高等学校PTA連合会

開催日・日程等（予定）

【1日目】令和4（2022）年10月15日（土）

分科会：山梨県内7会場

12:00 13:00 16:30

受付	分科会
----	-----

※11:30～分科会打合せ（司会、助言者、発表者等 関係者のみ）

※18:30 目途に、開会式打合せ（関ブロ役員、地方協議会代表者等 関係者のみ）

【2日目】令和4（2022）年10月16日（日）全体会：河口湖ステラシアター

8:50 9:20 11:00 12:20 13:00

受付	開会式・全体 （アトラクション）	記念講演	閉会式 次回開催地紹介
----	---------------------	------	----------------

分科会について

テーマを設定し、7つの分科会を設け、基調講演－活動事例発表－パネルディスカッションを基本に開催します。

会場については、山梨県PTA協議会の組織が山梨県下7地区から組織構成されている事からそれぞれの地区で開催します。

① 組織運営（南アルプス市）② 地域連携（甲州市）③ 家庭教育（甲府市）④ 安全安心（富士吉田市）⑤ 国際理解（市川三郷町）⑥ 健康・食育（都留市）⑦ 情報モラル（北杜市）

全体会記念講演

記念講演講師 大村 智 理学博士



テーマ「私の科学と社会貢献」

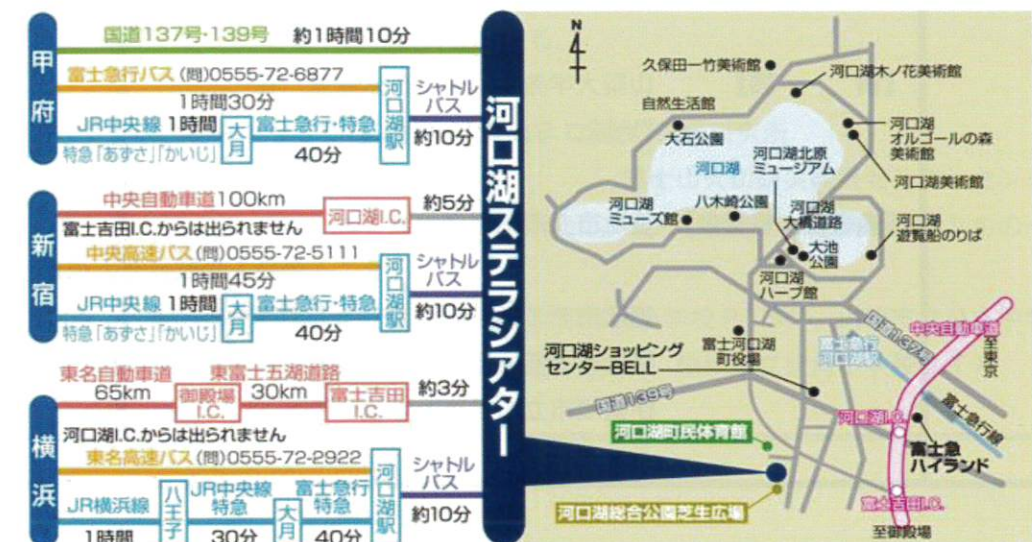
大村 智 氏は、化学者。北里大学特別栄誉教授（学）女子美術大学 名誉理事長、日本学士院会員。東京理科大学特別栄誉博士、山梨大学特別栄誉博士 薬学博士（東京大学）、理学博士（東京理科大学）。「線虫感染症の新しい治療法の発見」で2015年ノーベル生理学・医学賞受賞。

参加予定等

- 参加対象地域 関東甲信越静管内
- 参加対象者（一般参加者）PTA会員（教職員含む）
- 参加予定者人数 2,000名を予定（県内1,000名 県外1,000名）
- 参加料等 4,000円（大会資料代他）

大会会場 収容人数・アクセス

分科会（担当区）	会場収容人数〔感染防止のため〕 2021/9/17 現在	アクセス
第1分科会 （中巨摩）	南アルプス市 桃源文化会館 大ホール 730人〔1/2〕366人	中央自動車道 甲府昭和 I.C. より約 20 分 〔電車〕新宿駅ー甲府駅（約 90 分）あずさ、かいじ 〔バス〕甲府駅より約 35 分＋徒歩約 10 分 〔タクシー〕甲府駅より約 30 分 竜王駅より約 20 分
第2分科会 （峡東）	甲州市 市民文化会館 大ホール 805人〔1/2〕400人 ※主催者の判断で MAX 可	中央自動車道 勝沼 I.C. より約 15 分 〔電車〕新宿駅ー塩山駅（約 80 分） かいじ J R 塩山駅より約 15 分
第3分科会 （甲府）	甲府市 総合市民会館 芸術ホール 500人〔1/2〕240人	中央自動車道 甲府昭和 I.C. より約 15 分 〔バス〕甲府駅より総合市民会館で下車 約 15 分 〔電車〕身延線南甲府駅から徒歩 約 15 分
第4分科会 （南都留）	富士吉田市 市民会館 ふじさんホール 802人〔1/2〕400人	中央自動車道 河口湖 I.C. より約 10 分 東富士有料道路 富士吉田 I.C. より約 15 分 〔電車〕JR 中央線大月駅より富士急行線大月駅から河口湖駅行 乗車、月江寺駅下車徒歩約 3 分
第5分科会 （峡南）	市川三郷町 歌舞伎文化公園 多目的ホール 470人〔1/5〕85人	中央自動車道 甲府南 I.C. より約 15 分 中部横断自動車道 増穂 I.C. より約 10 分 〔電車〕JR 身延線甲斐上野駅から徒歩約 10 分
第6分科会 （北都留・都留）	都留市 うぐいすホール 大ホール 828人〔1/2〕400人 ※講演は MAX 可	中央自動車道 都留 I.C. より約 15 分 〔電車〕JR 中央線大月駅より富士急行線都留文大前駅から徒歩 15 分、タクシー約 3 分
第7分科会 （峡北）	北杜市 ハケ岳やまびこホール ホール 497人〔1/2〕200人	中央自動車道 長坂 I.C. より約 5 分 〔電車〕JR 中央線長坂駅よりタクシー約 10 分
全体会	河口湖ステラシアター 3000 席	中央自動車道 河口湖 I.C. より約 5 分 東富士五湖道路「富士吉田」I.C. より約 3 分 〔電車〕富士急行「河口湖駅」よりシャトルバス約 10 分



分科会一覧

第1分科会 組織運営 『連』	【研究テーマ】 地域と共に歩むPTA 未来を見据えた組織運営の在り方 児童生徒を取り巻く教育環境や課題は難しさを増す中でPTAの存在意義は益々高まっている。しかし、保護者の考え方や生活も多様化となる中で会員相互の繋がりや地域とのかかわりの希薄化も課題となっている。そこでPTA活動の目的に合わせた組織運営を共に考える。 【講師】 昭和町教育委員会教育長 太田 充 氏 【コーディネーター】 前山梨県教育研究所所長 上笹純夫 氏 【総 評 者】 パネルディスカッションコーディネーター 【発表校・協議会】 南アルプス市立大明小学校PTA 座間市PTA連絡協議会・阿見町立あさひ小学校PTA
第2分科会 地域連携 『携』	【研究テーマ】 地域コミュニティにおけるPTA活動の在り方 ～子どもたちの健やかな成長をめざした地域社会活動の推進役として～ 子どもたちの健康で安全な生活を確保するためには家庭・学校地域並びに関係機関等と連携した地域社会活動の推進が大切と考える。そこで地域社会に対するPTA活動の関わり方や地域の諸機関とのより良い連携について「持続可能」という視点を踏まえて考えていきたい。 【講師】 山梨大学教授 日永龍彦 氏 『地域コミュニティにおけるPTA活動の在り方（仮）』 【発表校・協議会】 笛吹市立芦川小学校PTA 『PTA活動と地域社会とのかかわり』 笛吹市PTA連合会『トすトす運動』 横浜市立西寺尾第二小学校PTA 伊勢崎市立あずま中学校PTA

分科会一覧

第3分科会 家庭教育 『継』	【研究テーマ】 子どもたちの未来のために ～世代を超えて心をひとつに、今こそ！音楽の持つその力に～ これからの未来を担う子どもたちが、自分らしさを大切に、夢や希望を抱き未来をたくましく切り拓いていけるように家庭・学校・地域で、私たちが大人として、親としてどのように子どもたちと接したらいいのか。音楽（歌）を通して共に考える。 【講師】 神部冬馬 氏『歌は世代を超えた共通言語 ～歌い継ぎたい想い～』 【発表校・協議会】 甲府市立山城小学校PTA 『マリ共和国へのお米の寄贈活動を通して 地域・学校・家庭で学んだこと』 甲府市小中学校PTA連合会 寄居町立用土小学校PTA・千葉市PTA連絡協議会
第4分科会 安心安全 『知』	【研究テーマ】 自然災害に対する安全について考えよう ～富士山の火山災害から子どもを守るPTA活動 子どもたちの取り巻く教育環境が激しく変化する中、子どもたちの安全・安心を守るために地域の大人がどう関わっていったらよいか、PTAとしての取組や、活動の工夫を考えると共に、具体的な実践を行う。子どもたちが地域の自然環境や歴史・文化を学ぶと共に、自然体験活動や防災学習を行うことにより、安全・安心に対する意識を高め安全への実践力を育てる。 【講師】 吉本光宏 氏 富士山科学研究所 富士山火山防災研究センターセンター長 『富士山の噴火に備えて～過去から学ぶもの～』 【発表校・協議会】 富士吉田市立吉田西小学校PTA・川崎市立日吉中学校 浜松市立東部中学校・柏崎市立比角小学校PTA

分科会一覧

第5分科会 国際理解 『共』	【研究テーマ】 子どもたちがこれからのグローバル社会を 生き抜く力を身に付けるために学校・家庭・地域として何ができるのか グローバル社会を生き抜くために必要な資質や能力を養うことを 目的とする。多文化共生などの地域の課題から、他者を受け入れ、 自己を理解する心を育む取組について学校・家庭・地域として何が できるのか考えていく。 【講師】 依田勝芳 氏 元中央市立玉穂南小学校校長 『外国籍児童・生徒の心のケアと共生について』 【発表校・協議会】 身延町立身延中学校 P T A 白馬村立白馬南小学校・相模原市立相模台中学校 P T A
第6分科会 健康・食育 『つなぐ』	【研究テーマ】 食でつながるからだと心 ～食べることは育てること、食べることはつなぐこと～ 食や健康の不安が問題の現代社会で、未来を担う子どもたちの心と 体の健全育成が急務。食育・健康教室の果たす役割は家庭・学校・地域 でどのように取り組むべきかを考えていく。 【講師】 大久保栄治 氏 外科医、第24南極地域観測隊員 1982～1983 【発表校・協議会】 上野原市立上野原西中学校 P T A 新潟市立巻南小学校 P T A・那須塩原市立関谷小学校

分科会一覧

第7分科会 情報モラル 『情報』	【研究テーマ】 ネット社会を賢く生きるための情報モラル ～持たせる責任・持つ自覚～ 多種多様な情報手段の正しい理解と活用をもとに、豊かな表現・ 発信・相互理解ができ、情報社会に適切に参画できるようにする ために早急に家庭・学校ができる対策について考える。 【講師】 兵庫県立大学環境人間学部准教授 竹内和雄 氏 ネットキャラバン隊実行委員長 ウィーン大学客員研究員。教育学博士 【発表校・協議会】 北杜市立小淵沢小学校 P T A・韮崎市立韮崎西中学校 P T A さいたま市立上落合小学校 P T A さいたま市立上大久保中学校 P T A 習志野市立第七中学校 P T A
------------------------------------	--



第54回日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会 発表分科会		
協議会名	発表概要・発表者	発表分科会
神奈川県PTA協議会	座間市PTA連絡協議会(令和3年度会長 阿部寛)各単Pが一同に会してPTAに関わる諸問題について研究協議と情報交換を行い、各単PのPTA活動の向上を図るため年1回、活動研修会を開催している。	第1分科会
茨城県PTA連絡協議会	阿見町立あさひ小学校PTA 私たちのPTA活動～何ができないではなく、何ならできかを考える～ 新型コロナウイルスの感染拡大の中、『第1回あさひチャレンジ』と題し、「20秒で空き缶積み」を実施。あさひチャレンジは第2回、3回と今でも継続して行っている。	第1分科会
横浜市PTA連絡協議会	横浜市立西寺尾第二小学校PTA(2021年度 文部科学大臣賞受賞 PTA) 地域、家庭、学校が連携し、地域で生きる子どもたちの為に交流を目的としたスキップ祭。又、地域の方々への感謝の気持ちを込めて地域清掃や地域のお祭り、盆踊り等での連携。	第2分科会
群馬県PTA連合会	伊勢崎市あずま中学校PTA 新型コロナウイルス感染拡大の状況下、PTAが地域と協力することで、生徒が安心して安全な学校生活を送れるように取り組んできた。1つ目は、「地域とともに-生徒の安心・安全のために-」(交通安全) 2つ目は、ICTを活用した、PTA広報紙「順風」の発行。地域と協力した取組として、あずま地区花火大会を実施した。	第2分科会
埼玉県PTA連合会	寄居町立用土小PTA 保護者、教諭、地域の輪で子どもたちを見守り育てる！これが用土小のモットーです。コロナでできないではなく、できることを考え実行していく！子どもたちと一緒に楽しい事を共有できるように活動しています。	第3分科会
千葉市PTA連絡協議会	千葉市PTA連絡協議会(三谷真 会長) 「単位PTAに寄り添う協議会活動」(仮題)・未加入校対策の活動	第3分科会
川崎市PTA連絡協議会	川崎市立日吉中学校(令和元年度)会長 令和元年10月に「うんこ交通安全ドリル」の発行と「うんこ交通安全教室」を開催。子ども達の交通安全への意識向上を課題としながら文響社のニーズが一致して成立したコラボレーション。	第4分科会
静岡県PTA連絡協議会	浜松市立東部中学校 生徒会や地域と連携して、心身の安心安全の基本である「いじめ3プロジェクト(しない、させない、ゆるさない)」を推進。コロナ禍において、活動①は「東中スマイリーTシャツ」の製作。その②は「東中デジタル防災MAPづくり」	第4分科会
新潟県小中学校PTA連合会	柏崎市立比角小学校PTA ちょこっとサポーターから比角スマイルプロジェクトへ～地域連携への取組～ 保護者が行事に参加できるか検討し、できることをできる時間に手伝う「ちょこっとサポーター」や行事の際の保護者の健康観察や誘導、消毒などをPTAで担った。	第4分科会
長野県PTA連合会	白馬南小学校 裏山スキー場の維持、豪雪地帯での学習環境整備、SDGsの見地からPTA活動を再構築。 将来地域を背負う子どもたちと共に、地域や社会と関わりつながら学習環境を維持するための活動を行っている。	第5分科会
相模原市PTA連絡協議会	相模原市立相模台中学校PTA 相模台中は、学区内の在日米軍相模原住宅から通学してくる子女も在籍するなど国際色豊かな地域である。子どもたちは日々、多文化共生を当たり前に感じながら過ごしている。そんな中で見えてくる課題に対応するために全員アンケート。保護者が職業講話として、サプライチェーンマーケティングについて話しながら、社会人として世界との繋がりを考える授業を学校と協力しながら行った。	第5分科会
新潟市小中学校PTA連合会	新潟市立巻南小学校PTA コロナ禍の中、地元のお店、地元の食材を使ったお弁当を食べて皆が笑顔になろう企画 第一弾『まきっこエール飯』第二弾『卒業エール弁当』令和3年度は『ミニにしかんテイクアウトまつり』を開催。	第6分科会
栃木県PTA連合会	那須塩原市立関谷小学校 <関谷小学校朝ごはんプロジェクト> 登校してきた児童に、週に一度PTAが主催して朝ごはんの提供をする。	第6分科会
さいたま市PTA協議会①	さいたま市立上落合小学校PTA 「時にはPTA活動もテレワーク！ICT活用」～場所や時間にとらわれない柔軟さを求めて～	第7分科会
さいたま市PTA協議会②	さいたま市立上大久保中学校PTA 「アナログからデジタルへの移行管理」コロナ禍で活動が縮小している中、改めて自校PTAの見直しを行った。PTAにグループウェアを導入することによりスピード感とペーパーレスで負担軽減。	第7分科会
千葉県PTA連絡協議会	習志野市立第七中学校PTA 入会届の導入、会費の値下げ、グーグルドライブを活用し資料配布等のペーパーレス化等、ネットサービスの活用を中心にしながらPTA組織・運営の改善に取り組んだ実践です。	第7分科会

大会参加に関するお知らせ

お申込み方法とスケジュール

単位PTA（各学校）
大会申込書に参加者を記入し
市町村区PTA事務局にメールにて送付

市町村区PTA事務局
単Pから送付された参加申込書から集約表を作成し
県PTA事務局宛に送付

県PTA事務局
申込参加書と集約表を作成し8月19日（金）までに
下記アドレスにメールにて送付

分科会決定します
各県・政令都市PTA事務局は
大会参加費を振込@4000円×参加要請数
*振込方法は別途連絡いたします

山梨県PTA協議会事務局より
大会参加証を9月2日（金）までに
各県・政令都市PTA事務局宛に発送します

山梨県PTA協議会（問合わせ先）
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内3-33-7 教育会館5F
TEL：055-228-1342
e-mail info@nasi-pta.chu.jp

